

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 安全な伐倒技術を学ぶ研修会を開催しました

林業は労働災害の発生率が非常に高い業種で、令和3年に岐阜県で発生した林業の死傷災害は43件と全国ワースト8位となっています。死傷災害の主な発生要因はチェーンソーを使用した伐木造材作業であり、労働災害の撲滅・減少のためには伐倒方法等について理論的に学ぶことが必要です。

このため、令和4年9月22日（木）に（一社）林業技能教育研究所の飛田所長より「安全な伐倒技術を学ぶ研修会」を開催し、森林組合や民間林業事業者等から10人が参加しました。研修会では、伐木作業を行う上でのポイント等の講義と、伐倒練習機を使用した正確な受け口・追い口切りの実技講習を行いました。

講義では、会合線が水平でないと木は狙った方向に倒れないこと、会合線が正しく切り合わないとき意図しない方向に木が倒れ作業の危険性が高くなるなど、伐倒について理論的に学びました。

実技講習では、JLC（日本伐木チャンピオンシップ）に出場している（株）岐阜緑地の鈴木康範氏にも講師として加わっていただきました。伐倒練習機を活用し、目標物に向けて伐倒できるよう受け口や追い口を作り、その角度や水平具合などをJLCと同じ方式で数値化することで、参加者は自分自身の技術を客観的に確認することができました。

伐採現場と競技は異なりますが、チェーンソーの操作技能がなければ伐採はできません。自分の意図した方向へ正確に木を伐倒することは、伐採現場にも競技にも共通します。イメージ通りに体を動かす操作技能を身につけるためには、作業姿勢や両手の力の入り具合、そして目線に留意することが重要です。

また、安全な伐倒のためにはチェーンソーが正しく手入れされていることが必要です。ソーチェーンの目立ての重要性などについて、鈴木氏から詳しく教えていただきました。

参加者からは、「自分の伐採を客観的に指摘されるのは初めてで勉強になった」「新人の教育に役立つ」などの意見があり、非常に有意義な講義となりました。引き続きこうした研修会をとおして、労働災害の撲滅・減少につなげていきます。

▼裏面へ続く



飛田京子氏による講義



伐倒練習機を活用した実技講習



チェーンソーの整備

●森林レンタル「forenta（フォレンタ）」を運営する（株）山共を視察しました

森林を多様な分野で活用し、山村地域に雇用と収入機会を生み出す森林サービス産業が注目される中、東白川村で森林をキャンプサイトとしてレンタルする「forenta」を運営する（株）山共を令和4年9月26日（月）に視察しました。

「forenta」は森林を年間契約でレンタルするもので、利用者は好きな時に森林を訪れ、焚き火をしたり、自分だけの秘密基地を作り上げたりなど様々な楽しみ方が可能となっています。

ドイツでは週末ごとに森の中で食事をしたり、子どもと遊んだりすることが生活の一部となっていることを目の当たりにした（株）山共の田口社長が、日本では人と森をどのようにしたらつなぐことができるか考えた結果、森林をキャンプサイトとしてレンタルし、自由に使う「forenta」にたどり着きました。

新型コロナの感染拡大以降、人との接触を避けることができるキャンプは人気が高まり、「forenta」の取組みは東白川村のほか、フランチャイズ制で北海道や静岡県など5道府県に広がっています。

東白川村のキャンプサイトは一般的なヒノキ主体の人工林で、開設にあたり特別に造成工事は行っていません。電話対応や契約手続き業務、週に一度のトイレの見回り・清掃をスタッフ1人で行うことで、維持管理コストを極力抑えています。将来、事業から撤退する場合も、木材生産林として森林整備をしていくだけなので、コストがかからないようになっています。

主な客層はキャンプに慣れた愛知県在住の40～60代で、非常にマナーが良く、77区画すべてが契約済みであり、利用者の約9割が契約を更新するなど顧客満足度の高いキャンプサイトとなっています。

区域内では、造林木を傷つける行為を除き基本的に自由に利用できることから、利用者はウッドデッキやツリーハウスなどを設置し、大いにキャンプを楽しんでいるようです。

「forenta」の取組みがさらに広がることを期待するとともに、人と森との関わり方の一つとして大いに参考になるのではないのでしょうか。



（株）山共 田口社長による説明



キャンプサイトの利用状況



キャンプサイトの利用状況

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp